貸借対照表

(平成23年3月31日現在)

広島県呉市広末広1丁目3番28号

株式会社 全珍

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	798,239	流動負債	580,840
現金及び預金	160,516	支払手形	149,713
受取手形	8,412	買掛金	177,113
売掛金	548,452	短期借入金	10,000
商品	1,564	リース債務	14,224
製品	16,552	未払金	128,776
仕掛品	20,185	未払費用	32,945
原材料	37,553	未払法人税等	35,004
前払費用	3,063	未払消費税等	11,167
その他	2,032	預り金	7,195
貸倒引当金	△ 94	賞与引当金	14,700
固定資産	603,807	固定負債	78,236
(有形固定資産)	588,002	リース債務	54,339
建物	46,715	退職給付引当金	23,776
機械及び装置	45,511	資産除去債務	121
車両運搬具	171		
工具、器具及び備品	4,907	負債合計	659,077
土地	422,132		
リース資産	68,563	(純資産の部)	
(無形固定資産)	1,092	株主資本	742,969
電話加入権	1,092	資本金	50,000
(投資その他の資産)	14,713	利益剰余金	692,969
出資金	3,895	利益準備金	7,900
敷金及び保証金	10,818	その他利益剰余金	685,069
		別途積立金	650,000
		繰越利益剰余金	35,069
		(うち当期純利益)	30,040
		純資産合計	742,969
資産合計	1,402,047	負債及び純資産合計	1,402,047

※第36期

個 別 注 記 表

自 平成22年4月1日
至 平成23年3月31日

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) たな卸資産の評価基準及び評価方法

総平均法による原価法（貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産（リース資産を除く）

法人税法の規定による定率法を採用しております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）については、定額法を採用しております。

また、平成19年3月31日以前に取得したものについては、償却可能限度額まで償却が終了した翌年から5年間で均等償却する方法によっております。

②無形固定資産（リース資産を除く）

法人税法の規定による定額法を採用しております。

③リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引が平成20年3月31日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(3) 引当金の計上基準

①貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率による計算額を、貸倒懸念債権及び破産更生債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

②賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しております。

③退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額により計上しております。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 360,892千円

(2) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債権 415,580千円

短期金銭債務 75,725千円

合計 491,306千円

3. 1株当たり情報に関する注記

- (1) 1株当たり純資産額 7,429円70銭
(2) 1株当たり当期純利益 300円41銭

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎

損益計算上の当期純利益	30,040千円
普通株主に帰属しない金額	— 千円
普通株式に係る当期純利益	30,040千円
普通株式の期中平均株式数	100,000株

4. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。